

1. 事業説明シート

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	南巨摩郡南部町内船	地区名	島尻川 (シマジリカワ)	事業主体	山梨県
-----	--------------------	------	-----------	-----	--------------	------	-----

**(1) 事業の概要**

**①課題・背景**  
 本溪流は流域面積0.27km<sup>2</sup>の土石流危険溪流である。流域内は崩壊や溪岸浸食が進行し、溪床には不安定土砂、転石が堆積しているとともに、溪岸沿いには立木が密集している。今後の台風や集中豪雨時には、土砂流出、流木による土石流発生の危険が高まっている。保全対象は、人家104戸のほかJR身延線、一級河川長田川が及び一級河川島尻川が存在し、土石流が発生すると甚大な災害を引き起こすことが予測され、土石流を抑止する砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。

**②整備目標・効果**  
 □主要目標 ○土石流被害の防止  
 ・災害実績 有 (2019年10月 台風19号)  
 ・土砂整備率 21% < 70%未満※  
 ・重要公共施設の有無 有 (県道、JR身延線)  
 (保全対象=人家104戸、JR身延線160m、県道190m、町道760m)  
 ※評価基準値

□副次目標 ー  
 □副次効果 ー

**(2) 整備内容**

**①整備内容**  
 砂防堰堤 1基 H=10.0m L=42.0m

**②着手年度** 令和5年度 **③完成見込年度** 令和14年度

**④総事業費** 約400百万円 (国費200百万円(5/10)県費200百万円(5/10))

**⑤年度別の整備内容 (事業費)**

令和5年度	詳細設計・用地測量	30百万円
令和6年度	用地取得・立木補償	20百万円
令和7年度	砂防堰堤工事	45百万円
令和8年度	砂防堰堤工事	45百万円
令和9年度	砂防堰堤工事	45百万円
令和10年度	砂防堰堤工事	45百万円
令和11年度	砂防堰堤工事	45百万円
令和12年度	砂防堰堤工事	45百万円
令和13年度	砂防堰堤工事	40百万円
令和14年度	砂防堰堤工事	40百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

**⑥既整備内容・期間・事業費**  
 砂防堰堤 1基 (昭和42年 C=8百万円)、既設治山堰堤 2基

**(3) 事業の妥当性評価** 妥当 妥当でない

**①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)**  妥当  妥当でない  
 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当

**②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)**  妥当  妥当でない  
 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当

**③経済妥当性**  妥当  妥当でない

総事業費	400 百万円	工期	R5~R14	基準年	R4
経済効率性	費用	321 百万円	便益	4,579 百万円	
	建設費	321 百万円	一般資産被害抑止	2,011 百万円	
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	338 百万円	
		百万円	公共土木施設等被害	77 百万円	
		百万円	その他※	2,153 百万円	
B/C			14.3		

※その他は、応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失)  
 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている

**④事業実施・規模の妥当性**  妥当  妥当でない  
 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である

**⑤整備手法の有効性**  妥当  妥当でない  
 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした

**⑥環境負荷等への配慮**  妥当  妥当でない  
 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮

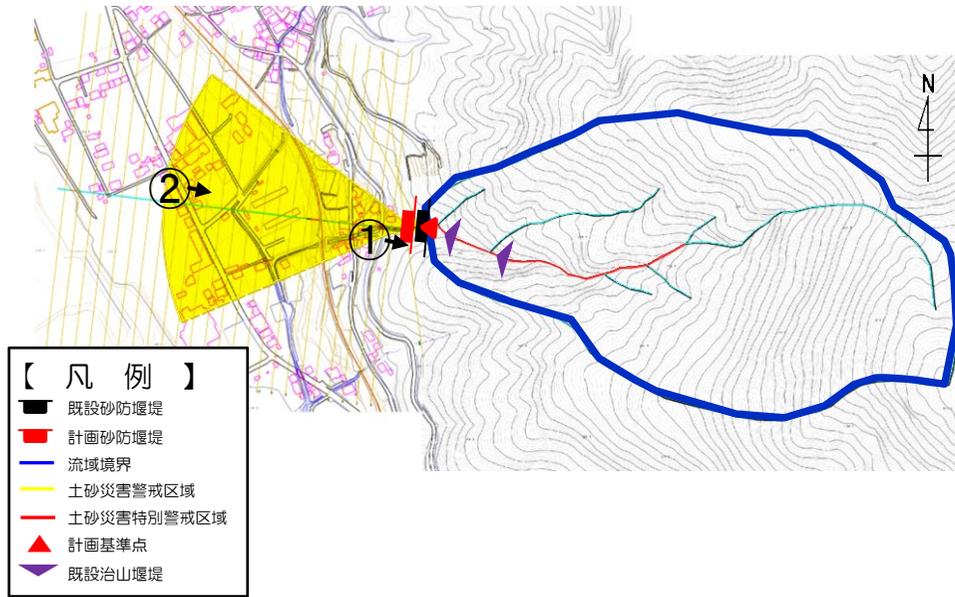
**⑦事業計画の熟度**  妥当  妥当でない  
 地元の要望に基づいている

**総合評価** [貢献度ランク: a]

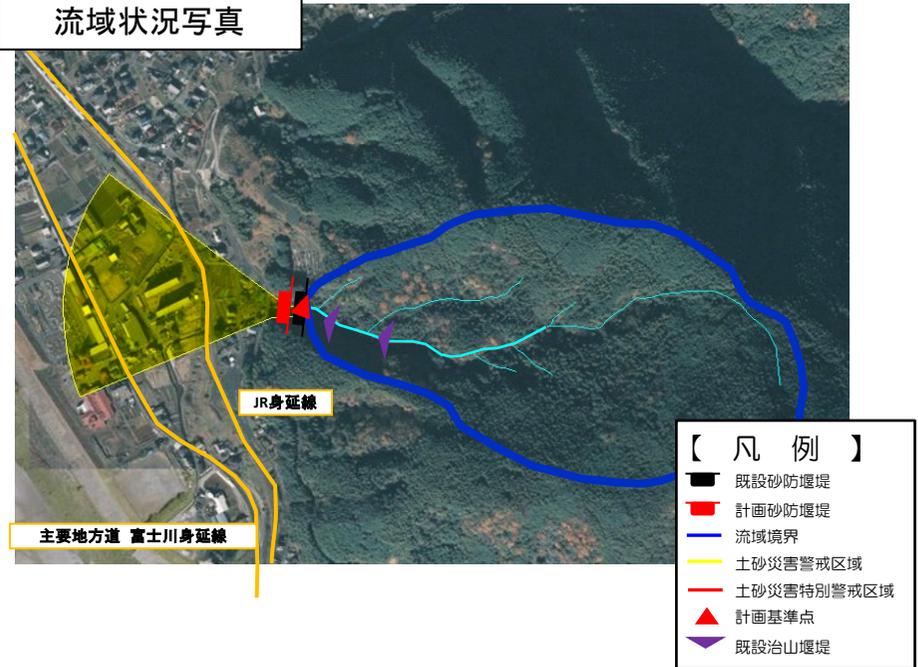


## 2. 添付資料シート

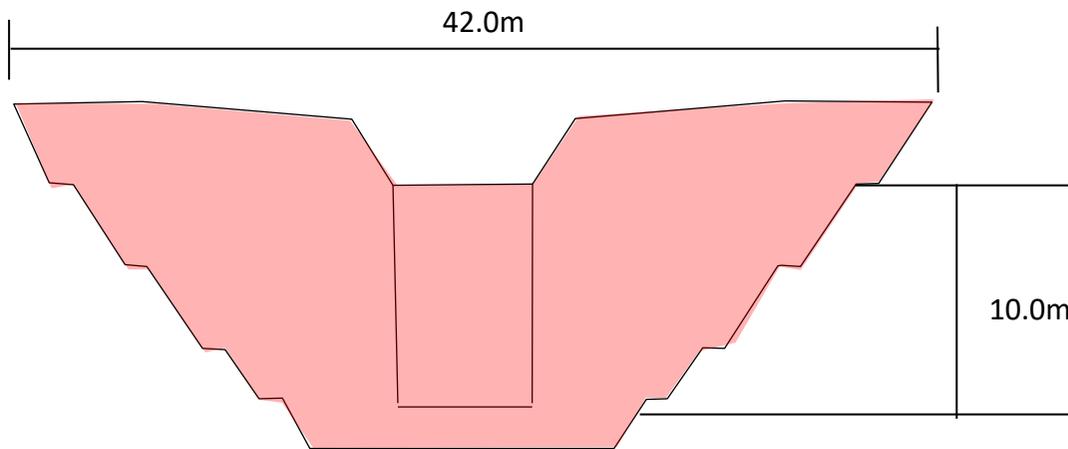
### 流域概要図



### 流域状況写真



### 正面図



### 荒廃状況



保全対象：人家